

主な出来事

【外政】

- ボンゴ大統領による第31回AU総会の出席
- ボンゴ大統領によるトルコ大統領就任式への出席
- ボンゴ大統領による訪露
- ボンゴ大統領による第10回BRICS首脳会議への出席
- ボンゴ大統領によるECOWAS・ECCAS合同首脳会合への出席

【経済】

- 大統領府人員の40%削減
- 首相府の人員削減:120名

【内政】

1 上院会期の終了

6月29日、上院の閉会式が開催された。4月末の憲法裁判所の下院解散命令により、今会期では上院が下院も兼ねたうえで、2018年政府修正予算、政治対話に係る改革案を採択した。（1日付UN）

2 UNによる政府の財政改革批判

野党UN（国民連合）は、閣議決定された公務員削減等の財政改革について、不公平で社会的であるとして政府を批判した。（9日付UN、11日付GM）

3 ACR代表による政権批判

ムーバンバACR（変化と復興のための連合）代表は、IMFからの融資を理由に、ボンゴ大統領は国民の生活を犠牲にする財政改革を実施していると批判した。（10日付GR）

4 CNR副代表による政府批判

10日、CNR（新共和国のための連盟）副代表は、2009年から2017年にかけての政府赤字は、アフリカネーションズカップの2度の開催といった過度の歳出に加え、公務員の増加の結果であるとして現政権を批判した。（11日付UN）

【外政】

1 ボンゴ大統領の第31回AU総会の出席

1-2日、ボンゴ大統領はヌアクショットを訪問し、第31回AU総会に出席した。同総会では、アフリカ大陸自由貿易圏、G5サヘル等に関して協議された。（2日付UN）

2 ECCAS加盟国間協議の開催

2日、第31回AU総会のマージンにて、中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS）加盟国間協議が開かれ、ガボン、コンゴ（共）、赤道ギニア、チャドから大統領が出席したほ

か、カメルーン首相、サントメ、ブルンジ代表が出席し、中部アフリカ地域の開発、治安、平和・安全保障、地域統合、中ア情勢、コンゴ(民)情勢等について議論した。(3日付UN)

3 ボンゴ大統領によるトルコ大統領就任式への出席

10日、ボンゴ大統領はエルドアン大統領就任式出席のため、トルコを訪問した。(11日付UN)

4 ボンゴ大統領による訪露

15日、露大統領の招待を受けて訪露したボンゴ大統領は、プーチン大統領と会談し、教育、文化、経済といった分野での二国間関係の更なる強化について協議した。両国首脳会談は、本年4月にロシア大統領特使として来訪したレヴィン農業副大臣のガボン訪問から数か月後に実現された。本年10月、両国は外交関係樹立45周年を迎える。(16日付UN)

5 ボンゴ大統領による第10回BRICS首脳会議への出席

26日、ラマポーザ南ア大統領の招待を受けて、ボンゴ大統領はヨハネスブルグで開催された第10回BRICS首脳会合に出席した。また、27日、同首脳会合のマージンにて開催されたBRICSとアフリカ諸国のアウトリーチ会合にボンゴ大統領が参加した。(25日付大統領府HP)

6 ボンゴ大統領によるECOWAS・ECCAS合同首脳会合出席

30日、ボンゴ大統領はロメにて開催された平和、安全保障等に係るECOWAS・ECCAS合同首脳会合に出席した。同会合では、両地域機関の治安上の共通の課題等について議論された。(29日付大統領府HP)

【経済】

1 大統領府人員の40%削減

6月29日の閣議にて、大統領府人員の40%削減が決定され、政府の公務員数の半減が決定された。また、ファーストクラスでの出張の禁止、3,000万CFAフランを越える高級車の購入禁止等が発表された。(30日付UN, 1日付GM)

2 首相府の人員削減:120名

4日の閣議において、50.63%の首相府の人員削減が決定され、237名の職員を117名まで削減する旨発表された。(5日付UN)4

3 第4回投資高等評議会の開催

3日、第4回投資高等評議会(HCI)が開催され、官民関係者が出席の上、国内債務の解消、ビジネス環境改善等について議論が行われたほか、経済再建計画(PRE)の加速化に向けた各種施策の進捗状況について協議した。(5日付GM)

4 国家支出の削減

5日、イソゼ首相はG20諸国大使に対して、2014年から2017年の間に国家支出は26%減の2,440億CFAフランとなった旨発表し、政府が実施している各種財政改革について説明した。(6日付GM)

5 ガボン:産油国第8位

2017年アフリカ諸国産油国ランキングにおいてガボンは第8位(日量生産19.8万バレル,)を記録した。(10日付GM)

6 ベトナムによる森林投資

11日,水・森林大臣はベトナム産業・通商省代表を団長とする投資家一行と会談し,両国間の貿易関係の強化,森林分野の投資可能性について協議した。(12日付GM)

7 中国CRCC社による鉄道投資

中国鉄建(CRCC)社は,リーブルビルでのガボンの鉄道維持設備の建設に意欲を示した。同社は電気鉄道の製造,ディーゼル電気機関車,ディーゼル・エンジン機関車,トラム等の製造を専門としている。(13日付GM)

8 2018年ガボン経済成長率予測:1.9~2%

中部アフリカ諸国銀行(BEAC)は,2018年のガボンの経済成長を1.9から2%で予測した。(17日付UN)

9 ガボン国営航空会社設立に向けた動き

13日,ドゥンダンゴエ交通・物流大臣は,サウジアラビアに拠点を置くNexus Aero International社代表と面談し,ガボンの国営航空会社創設に向け協議した。(17日付GM)

10 ガボン・EU漁業協定交渉

18日,当地EU大使は漁業大臣との間でマグロ漁交渉を開始した。同交渉は水産資源の持続的な利用を軸としたウィンウィン協力に向けた新たな合意署名を目的とした4回目の交渉である。2013年から2016年の合意では,EU側からガボンに対して63.6億CFAフランの補償金が支払われた。(20日付GR)

11 2018年第1四半期マンガン製造量:110万トン

2018年第1四半期のマンガン製造量は27.2%増の110万トンを記録した。他方,2月の鉄道の脱線事故等を理由に,輸出及び販売量はそれぞれ16.1%,11.7%減少した。総決算は4%増加の1,505億CFAフランとなった。(26日付UN)

12 2018年第1四半期石油生産量:240万トン

2018年第1四半期の石油生産量は,10.7%減少の240万トンを記録した。うち,輸出は3.2%増加の239万トンとなり,82%がアジア及び太平洋諸国に輸出されている。(28日付UN)

13 2018年上半期決算:Maurel&Prom

Maurel&Promの2018年上半期の総決算は,ガボンの石油販売価格の改善により,前年より14%増加の1億9,600万ユーロを記録した。(29日付GR)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP紙),EN(エコ・ノール紙)